

- 1 ひづけ 日付 (下に線の引いてある部分) ぶぶん の読み方をひらがなで  
書きましょう。

れい (例) いちがつ 3日 ( みっか )

にがつ 2日 ( )

さんがつ 3日 ( )

しがつ 4日 ( )

ろくがつ 6日 ( )

しちがつ 7日 ( )

はちがつ 8日 ( )

くがつ 9日 ( )

じゅうがつ 10日 ( )

じゅういちがつ 11月 10日 ( )

じゅうにがつ 12月 20日 ( )

1 ( ) のことばのうち、正しいほうを○でかこみましょう。

- ① ケンタさんは、<sup>としょかん</sup>図書館で本を  
( かしました ・ <sup>か</sup>借りました )。
- ② ケンタさんは、自分の絵本を弟にかして  
( あげました ・ もらいました )。
- ③ 学校にいたら、雨がふってきました。まいさんは、かさを持<sup>も</sup>って  
いなかったの、ケンタさんから  
( かしました ・ <sup>か</sup>借りました )。
- ④ ケンタさんは、自分のたん生日にケーキを買って  
( あげました ・ もらいました )。
- ⑤ おじさんが<sup>りょこう</sup>旅行から帰ってきました。ケンタさんは、おみやげの  
アメを ( あげました ・ もらいました )。
- ⑥ ケンタさんは、アメをたくさん持<sup>も</sup>っていました。友<sup>ともだち</sup>達から  
「アメをちょうだい」と言われたので  
( あげました ・ もらいました )。

1 文の意味が通るように、下からてきせつなことばを選び（ ）  
に書きましょう。同じことばを2回使<sup>つか</sup>ってははいけません。

①

夕方、急<sup>きゅう</sup>（ ）雨がふってきた。

わたし（ ）かさ（ ）さした。

に は を と

②

妹が、自分のコップ（ ）落<sup>お</sup>としてしまった。

妹のコップ（ ）われてしまった。

あぶないので、われたコップ（ ）さわらないようにした。

には と は を

③

ねこ（ ）ねずみ（ ）追<sup>お</sup>いかけた。

ねずみは、カベの小さなあな（ ）にげこんだ。

ねこは、1時間（ ）ねずみが出てくるのを待<sup>ま</sup>っていた。

を も が に

- ① 次の文を読んで、それぞれの文のテーマを一つ選び（ ）に○をつけましょう。

①

たらこはタラという魚のたまごです。イクラもサケという魚のたまごです。

( ) 魚のたまご      ( ) 魚の名前      ( ) 魚の料理りょうり

②

ピアノには、黒いけんばんと白いけんばんが、合わせて88ある。その一つ一つのけんばんをおすと、けんばんのうらにあるハンマーが、ピアノの中にあるげんをたたいて音が出る。

笛ふえには、多くのあながあいていて、指ゆびでおさえながら、息いきをふきこんで音を出す。

このように、音の出し方は楽器がっきによってちがうのだ。

( ) 楽器がっきと数字      ( ) げんとあな  
 ( ) 楽器がっきの音の出し方      ( ) オーケストラ

- ① 文をよく読み、答えを1つ選<sup>えら</sup>んで、○でかこみましょう。
- ① たくさんあることを「おおい」といいます。漢<sup>かんじ</sup>字で書くと？  
( 大きい ・ 大い ・ 多い ・ 多いい )
- ② ペアで遊<sup>ゆうえんち</sup>園地のチケットをもらいました。何まいもらった？  
( 1まい ・ 2まい ・ 3まい ・ 4まい )
- ③ 場<sup>ばしょ</sup>所を知りたい時に見るのは？  
( カレンダー ・ 時計 ・ 地図 ・ 教科書 )
- ④ 電気をむだづかいしないことを何という？  
( 節<sup>せつでん</sup>電 ・ てい電 ・ 消<sup>しょうとう</sup>灯 ・ 切る )
- ⑤ 中学校の最<sup>さいこう</sup>高学年は？  
( 2年 ・ 3年 ・ 4年 ・ 6年 )
- ⑥ 新<sup>しんねんど</sup>年度は何月から始<sup>はじ</sup>まる？  
( 1月 ・ 3月 ・ 4月 ・ 9月 )
- ⑦ 「雨があがる」とは、雨がどうなること？  
( 強くふる ・ やむ ・ ふり出す ・ つめたくなる )

## 10歳からのことばトレーニング 教材見本用 解答とポイント（抜粋）

【06】（上から順に）つたち、ふつか、よっか、いつか、むいか、なのか、ようか、このか、とおか、はつか

■高学年でも日付の読み方があいまいなお子さんがあります。8日を「やつか」「はつか」と読んだり、20日を「にじゅうにち」と言ったり。日付は、約束を決めたり予定を立てたりする際に行き違いがあってはいけないものですので、しっかりと確認してあげてください。ちなみに、10日は「とうか」ではなく「とおか」になりますので、書き誤りがないかどうかも気をつけて見ていきましょう。

【20】①借りました ②あげました ③借りました ④もらいました ⑤もらいました ⑥あげました

■コミュニケーションに苦手さがあるお子さんの多くが、「かすーかりる」「あげるーもらう」などのやりとりのことばを苦手としています。立場によることばの区別がつかみにくいようです。時に図示やロールプレイ等も取り入れながら支援してください。

【29】①（順に）に、は、を ②（順に）を、は、には ③（順に）が、を、に、も

■適切な助詞を選択する課題です。ことば同士を特定の関係でつなぐ助詞は、一つ違つと意味が大きく変わってしまうことがあります。お子さんが、より適切に言いたいことを伝えられるよう、基礎固めをしておきましょう。なお、1文ごとに文末までしっかりと読んでから考えるように指導してください。

【36】①魚のたまご ②楽器の音の出し方

■話のテーマをつかむための課題です。文脈を理解せずに単語に注目してしまうと間違えてしまいます。何を言いたいのかをつかむ力の基礎となりますので、誤答がみられた場合にはいいねいな解説が必要です。

【49】①多い ②2まい ③地図 ④節電 ⑤3年 ⑥4月 ⑦やむ

■主にことばの知識を問う課題です。自然に身につけてほしいことばや一般常識であっても、なかなか定着しないお子さんには、しっかりと教え伝えていくことが大切です。誤答が多い場合には、日常の様々なことについて改めて理解しているかどうか確認してあげてください。

①について、高学年になつても「多い」を「大い」と書くお子さんもあります。この課題を通して定着を促したいところです。また⑥では、年度がわりに学年が上がることに気づかせることで、より実感をもって理解できるでしょう。

### 【著作権およびご利用について】

※本見本教材の著作権は、株式会社クアに帰属します。

※本見本は、お子さまに実際にお試しいただくことを目的として公開しています。

ご家庭・学校・療育機関等でのおためし用として印刷し、ご利用いただくことができます。

※なお、本見本教材の全部または一部について、転載、送信、再配布、販売、その他これらに類する行為は固くお断りいたします。